

## 10 学習指導案

人権に関する学習や人権教育の視点を加えた授業を実施する場合の指導案の例です。岡山県総合教育センターが示す各教科等の指導案の形式を参考にして作成しています。なお、指導案には固定的な形式があるわけではありませんから、各学校や授業者が工夫して作成して下さい。

### ■小学校（道徳科）学習指導案例

第3学年〇組 道徳科学習指導案  
平成〇年〇月〇日（〇） 第〇校時 〇〇教室 指導者 〇〇〇〇

1 主題名 命あるものを大切に 内容項目【生命の尊さ】小学校中D(18)

2 ねらいと教材

(1) ねらい

生命の尊さを感じ取り、生命あるもの全てを大切にしようとする心情を養う。

(2) 教材名

「ヒキガエルとロバ」（出典：文部科学省「わたしたちの道徳」）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

「命あるものを大切に」とは、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることである。中学年の段階では、誕生の話から生を受けたことのすばらしさを感じたり、病气やけがのことから自分の生命の尊さを知ったりして、自分自身の命が、いかにかけがえないものであるかを感じ取らせるようにしたい。それと同時に、生きているもの全てが同じように生命を持っていることを理解し、生命あるもの全てを大切にしようとする心を育てる必要がある。

(2) これまでの学習状況や実態と教師の願い

児童の生き物に対する興味・関心は高く、理科の時間に育てたヘチマの花の観察に積極的に取り組んだり、教室で羽化したモンシロチョウを宝物のようにながめていたりする姿もよく見られた。

しかし、日常生活において飼っている生き物にえさをやり忘れたり、おもちゃのようにして遊んだりする光景も見受けられることがある。また花が咲いている間は喜んで水やりをするが、そのうち興味が薄れ枯らしてしまうこともある。

このようなことから、生命のある存在としての生物のすばらしさや自然の不思議さを感じ取らせるとともに、どんな小さな生物も人間も生命の重さにおいて変わりがないことに気付かせたい。そして、生きているもの全てを大切にしようとする心情の育成を図りたいと考える。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、生命の危機を感じる場所にありながら、自力では何もできないヒキガエルに、残酷な目を向ける子どもたちと、自分も苦しい立場にありながら、ヒキガエルの生命をなんとか助けようとするロバの姿が対比的に描かれている。

ロバの行動や、ロバの行動を見て立ち尽くす子どもたちの思いについて考えさせ、生命あるものを大切にしようとする態度を育てることができる教材である。

4 本時（本実践）と人権教育

生命の大切さとともに、生命を大切にすることを優先した行為の尊さに気付き、生命はかけがえのないものとして尊重する態度を養う。

学習活動	主な発問と予想される反応	指導・援助の留意点
<p>1 &lt;導入&gt; 生き物を飼った経験を話し合う。</p> <p>2 &lt;展開&gt; ・教材「ヒキガエルとロバ」を読んで話し合う。</p> <p>・生命の大切さについて考える。</p> <p>3 &lt;終末&gt; 教師の説話を聞く。</p>	<p>○どんな生き物を飼ったことがありますか。 ・家で犬を飼っているよ。 ・2年生の時、教室でザリガニを飼っていたけど、死なせてしまったよ。</p> <p>○年をとったロバが、荷車を引いてやってきたのを見て、アドルフたちは、どんなことを思っていましたか。 ・ヒキガエルがひかれるぞ。 ・ひかれたらどうなるだろうか。 ・おもしろそうだ。</p> <p>○ロバが、ヒキガエルをじっと見続けているのを見て、アドルフたちは、どんなことを思っていましたか。 ・ロバは、ヒキガエルの生命を守ろうとしているのかな。 ・なにをしているのだろう。 ・早くひいてしまえ。</p> <p>◎★アドルフたちは、ヒキガエルとロバをいつまでもながめながら、どんなことを考えていましたか。 ・ロバは疲れているのに、ヒキガエルを助けたんだ。ぼくも生命を大切にすよ。 ・どんな生き物の生命も無駄に殺してよいものではないんだ。 ・もう絶対にしないよ。 ・おもしろそうだと思うけどぼくたちははずかしい。ごめんね。</p> <p>○あなたは、どんなときに生命の大切さを感じましたか。 ・かわいがっていた犬が死んでしまったとき、もっとかわいがってあげればよかったと思った。 ・妹が生まれてきたとき、しっかりお世話したいと思った。</p> <p>○自分の生命だけでなく、他の生き物の生命も同じように大切にしていきたい。</p>	<p>○身近な生き物の生命が意識できるように、これまでの生き物を飼った経験を思い出させる。</p> <p>○生き物の生命について考えることを確かめ、価値への方向付けを行う。</p> <p>○教材を読む前に、ヒキガエルの写真を見せる。</p> <p>○場面絵を活用し、「荷車」「わだち」などの言葉を補足説明しながら読む。</p> <p>○アドルフたちが小さな生命が消えることを軽い気持ちで捉えていることを押さえる。</p> <p>○児童の多様な発言を、教師が観点ごとに分けて板書し、ヒキガエルを愛護するロバの気持ちや、生命の尊さに気付いていない登場人物の思いを比べやすくする。</p> <p>○自分の考えをもつことができるように、ワークシートを利用し、その考えをもとに班で交流させる。</p> <p>○年をとったロバは、とても疲れていたが、それでもヒキガエルに気付くと、ひき殺さないよう新しいわだちをつけていったことを確かめる。</p> <p>○身近な出来事から、生命の尊さ、大切さを感じたことを発表させる。</p> <p>○実践意欲へと結び付けることができるようにする。</p>
<p>&lt;評価の観点&gt; ○児童が、ねらいとする道徳的価値（生命の尊さ）を自分との関わりで考え、意欲をもって学習に参加している。 ★どのような生命も大切にしようとするロバの行動に共感し、生命を大切にしていこうとする実践意欲を高めている。</p> <p style="text-align: right;">[ワークシート・発言]</p>		

■中学校（学級活動）学習指導案例

第2学年〇組 学級活動指導案  
平成〇年〇月〇日（〇） 第〇校時 〇〇教室 指導者 〇〇〇〇

1 題材名 「差別や偏見のない社会づくり」  
内容（2）ウ 社会の一員としての自覚と責任

2 生徒の実態と題材について

（1）生徒の実態

本学級は、班活動や生徒会活動などで、自分の役割をきちんと果たそうとする生徒が多い。しかし、学級をよりよくしようとしたり、自分たちが住んでいる地域や社会で起きている様々な事象に積極的に関わっていかうとしたりする姿勢はあまり見られない。また、本時で題材とするハンセン病について事前調査を行った結果、ほとんどの生徒が病名は知っていたが、どのような病気であるかを記述できた生徒は少なかった。

（2）題材設定の理由

生徒はこれまでハンセン病問題について学習しているが、ハンセン病の病名や患者等への差別や偏見があったことへの理解にとどまっている。このため、道徳の時間との関連を図りながら、啓発DVDの視聴や啓発冊子での学習により、差別や偏見に立ち向かい人権の回復に取り組んできた当事者の心情を共感的に理解させたいと考えた。さらに、学んだことを伝えるために行動したり、日常生活の中で改善できることを実践したりすることで、よりよい学級、学校、社会にするために自覚と責任を持ち、主体的に関与しようとする意欲や態度を育てたいと考えた。

3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。	日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

4 本時のねらい

ハンセン病問題について学習したことを身の回りの人にどう伝えるか考える活動を通して、日常生活の中でどのような行動を取ることができるかを考え、実践しようとしている。

5 本時と人権教育

差別や偏見の解消に向けてできることを考え、主体的に関与しようとする。  
(価値的・態度的側面)

三つの側面のうちの、どの側面の力をつけさせるのかを明記することもできます。

6 事前の活動

日時	生徒の活動	教師の指導・支援	学習評価
〇月〇日 帰りの会	アンケートに記入する。	事前調査により生徒の実態を把握する。	
〇月〇日 道徳	ハンセン病について知り、かつてハンセン病にかかった人たちの思いや願いを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハンセン病問題のこと 正しく知っていますか？」(岡山県)</li> <li>・ハンセン病問題を扱った道徳の読み物資料</li> </ul>	人間の尊厳の大切さに気付いている。
〇月〇日 学級活動	ハンセン病回復者の話を聞き、感想文を書く。	交流の時間を設定することにより、より深く受け止めさせる。	ハンセン病回復者の心情を共感的に受け止めている。 【思考・判断・実践】

7 本時について

人権教育の視点から特に重要なこと……★

	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導 入	1 前時に書いた感想を聞く。 2 本時の活動を確認する。	○特にハンセン病回復者の心情を共感的に捉えた感想文を紹介する。	
展 開	3 ハンセン病問題について学習したことを、身の回りの人にどう伝えるか考える。 4 学習したことをより多くの人に伝えるためにどのような行動を取ることができるかを考え、発表する。 (1) 個人でワークシートに記入する。 (2) 班で意見をまとめ発表する。 5 自分で行動する内容を決め、掲示用カードに書く。	○ハンセン病問題について自分の考えをワークシートに記入させる。 【考えるポイント】 ・どのような病気か。 ・なぜ差別や偏見がうまれたか。 ・人権侵害と考えるのはどのような点か。 ・この歴史的事実から学ぶことは何か。 ○差別や偏見を助長する表現は使わないよう助言する。 ○ワークシートに記入したあと、班で交流させ、実現しやすい具体的な行動を考えさせる。 ○多様な行動ができることに気付かせる。 ○★自分たちの学校、地域、家庭の中で取り組むことや、学習を通して気付いた日常生活の中で改善できることについて自己決定させカードに書かせる。	○★日常生活の中でどのような行動を取ることができるかを考え、実践しようとしている。 【関心・意欲・態度】 〔掲示用カード〕
終 末	6 教師の話聞く。	○学習を振り返らせながら、人間の尊厳や人権の大切さに触れ、実践への意欲を高めさせる。	

8 事後の活動

日時	生徒の活動	教師の指導・支援	学習評価
1か月後 朝の会	自分で決めたことの実践状況を報告し合う。	よくできたことを賞揚し、実践への意欲を高め、継続を促す。	自己決定したことを実践している。 【思考・判断・実践】

■高等学校（家庭基礎）学習指導案例

第1学年〇組 学習指導案  
平成〇年〇月〇日（〇） 第〇校時 〇〇教室 指導者 〇〇〇〇

1 単元（題材） 子どもと共に育つ

2 目標

- 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して主体的に学習活動に取り組んでいる。……………〔関心・意欲・態度〕
- 子どもの発達と保育について、現代の家庭や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現している。……………〔思考・判断・表現〕
- 保育の状況や意義についての情報を収集しまとめることができるとともに、子どもと適切に関わることができる。……………〔技能〕
- 子どもの発達と保育について理解し、家庭及び地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。……………〔知識・理解〕

3 指導上の立場

(1) 生徒の実態

生徒の家族構成は核家族が約〇〇%であり、兄弟姉妹のいない生徒は約〇〇%いる。ほとんどの生徒は幼い子どもと触れ合う機会を持ってない。中学校で幼児との交流を体験しており「楽しかった」「かわいかった」という肯定的な感想を持っている。将来、自分自身が生み育てる立場に立つという想定のもとで体験を振り返ることのできた感想は少なく、自分の問題として捉えるところまでは進んでいない。

(2) 単元（題材） 観

少子化が進む中で、育児の経験があまりないままに親になる場合が多いため、育児への漠然とした憧れを抱いたり、逆に不安を抱えたりする生徒もいる。このため、体験や交流活動による学習を通して、子育ての喜びや楽しみに気付かせ、親の適切な関わりの大切さや子どもを育てる意義について考えさせたい。また、前に学習した「人の一生と家族・家庭」の内容とも関わらせ、子どもを生み育てるための環境や条件を考慮したライフコースを考えたり、必要があれば社会的支援を活用しながら家族が協力して子育てすることの大切さを理解させたりすることができる単元である。

(3) 本単元（題材）で工夫する点や手立て

妊婦疑似体験や保育園児との交流を通して、自分はどうのような親に（大人に）なりたいか、そのためにどんな力をつけたらよいかなど、大人になり子どもを育てることを自分自身のこととして捉えさせる。

また、具体的な事例の提示により、子育てを困難にする課題を見出したり、その解決方法を考えさせることが期待できる。その際、「児童の権利に関する条約」等を通して、子どもの尊厳と人権についても理解を深め、必要があれば社会的支援を活用しながら家族が協力して子育てすることの大切さを理解させる。

4 指導と評価の計画

主な学習活動	具体的な評価規準と評価方法
<p><b>第一次</b> 「子どもの育つ力を知る」…………… 4時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○妊婦疑似体験をする。</li> <li>○自分の子ども時代を振り返り、子どもの特徴について気付いたことをまとめ、発表する。</li> <li>○保育人形で、新生児の体重・身長を計測する。</li> <li>○子どもの発達を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母体の健康と子どもの誕生について関心を持ち、子どもの発達と保育について考えようとしている。〔関心・意欲・態度〕（ワークシート、行動観察）</li> <li>○乳幼児の心身の発達の特徴を理解する。〔知識・理解〕（ワークシート）</li> </ul>

<p><b>第二次</b> 「親として共に育つ」…………… 4時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親と子どもの関わりの大切さを理解する。</li> <li>○適切な保育の重要性に気づき、乳幼児の生活について理解する。</li> <li>○家庭保育と集団保育について調べ、まとめる。</li> <li>○保育者としての関わり方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児への親や家族の関わり方、家庭生活が果たす役割の重要性について理解している。(愛着の形成・社会的な規範) [知識・理解] (ワークシート)</li> <li>○家庭保育、集団保育の状況や意義についての情報を収集しまとめている。[思考・判断・表現] [技能] (ワークシート)</li> </ul>
<p><b>第三次</b> 「子どもとの触れ合いから学ぶ」… 3時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「園児との交流」において、子どもとの触れ合いや遊びを体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「園児との交流」において子どもと適切に関わることができる。[技能] (行動観察、自己評価カード)</li> </ul>
<p><b>第四次</b> 「これからの保育環境」…………… 2時間</p> <p><b>第1時</b> <b>本時</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童虐待等の事例から、現代の家族における子育てに関する課題を見出し、その解決について考え、話し合う。</li> <li>○「児童の権利に関する条約」や児童福祉に関する法律、子育て支援の制度、地域の機関等について調べてきたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代の家族における子育てに関する課題を見出し、その解決について思考を深め、まとめたり発表したりしている。[思考・判断・表現] (ワークシート、行動観察)</li> <li>○子どもの権利と福祉、子育てに関する社会的支援について理解している。[知識・理解] (ワークシート、発表・発言)</li> </ul>

人権教育の視点から特に重要なこと……★

本時案 (第四次第1時)					
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代の家族における子育てに関する課題を見出し、その解決について思考を深め、まとめたり発表したりする。</li> <li>○子どもの権利と福祉、子育てに関する社会的支援について理解する。</li> </ul>				
<p>■ 本時 (本単元) と人権教育</p> <p>「児童の権利に関する条約」や児童福祉に関する法律から、子どもの権利について理解する。子どもは保護され養育される権利を持つとともに一人の人間として尊重される存在でもあることを理解する。また、児童虐待はこれらの権利の侵害であることを理解する。</p>					
	学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など		
導入	<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「本時 (本単元) と人権教育」については、本時案の中にこのよう記載してもよい。</div>				
展	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">現代の家族の状況から、子育てに関する課題を見出し、その解決について考えよう。</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>2 現代の家族における育児の状況から、子育てに関する課題を見出し、その解決について考え、話し合う。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料 (育児不安と児童虐待の事例) から、子育てを困難にさせ、児童虐待を引き起こしかねない要因について考えるよう伝える。</li> <li>○社会的支援を活用して子育てをしている事例も示し、子育てにマイナスのイメージを抱かせないよう配慮する。</li> </ul> </td> </tr> </table>			<p>2 現代の家族における育児の状況から、子育てに関する課題を見出し、その解決について考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料 (育児不安と児童虐待の事例) から、子育てを困難にさせ、児童虐待を引き起こしかねない要因について考えるよう伝える。</li> <li>○社会的支援を活用して子育てをしている事例も示し、子育てにマイナスのイメージを抱かせないよう配慮する。</li> </ul>
<p>2 現代の家族における育児の状況から、子育てに関する課題を見出し、その解決について考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料 (育児不安と児童虐待の事例) から、子育てを困難にさせ、児童虐待を引き起こしかねない要因について考えるよう伝える。</li> <li>○社会的支援を活用して子育てをしている事例も示し、子育てにマイナスのイメージを抱かせないよう配慮する。</li> </ul>				

		子どもの権利と福祉について理解しよう。	
		子育て支援の制度や機関について理解しよう。	
開	<p>3 「児童の権利に関する条約」や児童福祉に関する法律、子育て支援の制度、地域の機関等について調べてきたことを発表する。また、発表を聞き、まとめる。</p>	<p>○発表を聞き、社会や地域の子育て支援の状況について理解するよう伝える。必要に応じて、ワークシートに記録を取るよう伝える。</p> <p>○子どもの権利や福祉について理解を深められるようにまとめるよう伝える。</p> <p>○児童福祉法に基づく、地域の機関とその役割について、具体的に知らせる。</p> <p>○★子どもは保護され養育される存在としての権利があるとともに、一人の人間として尊重される存在でもあることを知らせる。特に、児童虐待は、権利の侵害であることを知らせる。</p>	<p>◇現代の家族における子育てに関する課題を見出し、その解決について思考を深め、まとめたり発表したりしている。〔思考・判断・表現〕(ワークシート、行動観察)</p> <p>◇★子どもの権利と福祉、子育てに関する社会的支援について理解している。〔知識・理解〕(ワークシート、発表・発言)</p>
終 末	<p>4 本時の学習内容を振り返り、自分が親(大人)であったらどのように子育てをしよう(子育てに関わろう)と思うか考えをまとめる。</p>	<p>○ワークシートに考えをまとめるよう伝える。</p>	

## 11 子どもの成長や変容に関する評価と活用

人権教育のさらなる充実に向けて、実践の評価を行うことが大切です。評価の方法、時期等を適切に選択し実施します。

人権教育の評価には、「子どもの成長や変容に関する評価」と「学校の人権教育全体の点検・評価」（「人権教育の点検・評価」43ページ参照）の視点があります。

「子どもの成長や変容に関する評価」については、目標に対して子どもにどのような力が身に付いたのか、その育成のための指導内容・指導方法は効果的であったか、指導計画は適切であったかなど、多角的に評価することが必要です。

評価に当たっては、教職員の評価だけでなく、子ども自身による評価の活用も重要です。さらに、家庭や地域からも積極的に評価してもらうなど、外部評価を取り入れることは、より多角的な評価につながります。そのためにも、学校の取組について日常的に家庭や地域へ情報提供することも大切です。

このように、子どもの成長や変容を多角的に評価することによって、人権教育の取組の効果を検証し、その結果を踏まえて、「学校の人権教育全体の点検・評価」を行い、取組の改善につなげます。

**指導等の在り方編18～19ページ**

### 【参考】「子どもの成長や変容に関する評価」について

#### 〈評価の方法例〉

- 子どもが作成したレポート、振り返りシート、作文等
- 子どもの自己評価や相互評価の記録
- 教職員による（個別）面談、観察、アンケート調査等
- 保護者へのアンケート

#### 〈評価の時期〉

- 学期末、年度末等……目標の達成状況をはかるための評価
- 各取組のあと……目標達成に向けた計画の修正等を行うための評価

\* 参考……〈資料〉点検・評価アンケートの項目例【児童生徒向け】（54ページ）